

「国立市と学校法人国立音楽大学との包括連携協定」 調印式を実施します

国立音楽大学の前身、東京高等音楽学院は 1926（大正 15）年、一橋大学よりも前に国立市（当時の谷保村）に移転してきました。移転の背景には、箱根土地会社社長・堤康次郎が中心となった「国立大学町」計画と同時並行的に進められていた「音楽村」構想がありました。「音楽村」構想は幻に終わってしまいましたが、1950 年（昭和 25 年）には国立音楽大学として認可され、大学が玉川上水へと移転した後も、幼稚園から高校までは国立市に残り、地域に根付いています。

この間、学校法人国立音楽大学と国立市は、様々な連携・協力をしてきておりますが、地域課題が複雑・多様化する中、今後ともともにまちづくりを進めていく強固なパートナーシップの基礎となる連携協定を締結することといたしました。

つきましては、下記の通り調印式を行います。また、調印後、庄野進国立音楽大学理事長/学長と佐藤一夫国立市長による合同会見を予定しております。報道関係者の方々におかれましては、本件の趣旨についてご理解いただき、ぜひ記事を掲載し広く周知していただきますよう、ご多忙のこととは存じますが、ぜひご出席賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 日時 平成 26 年 7 月 14 日（月）午前 11 時～正午
2. 場所 国立市役所 2 階 市長公室
3. 協定の内容
 - （1）教育及び人材育成に関すること
 - （2）地域振興・まちづくりに関すること
 - （3）行政経営に関すること
 - （4）文化芸術に関すること
 - （5）環境保全に関すること
 - （6）生涯学習に関すること
 - （7）その他必要と認められる事項

お問い合わせ

学校法人国立音楽大学
理事会事務室長 小島
TEL：042-535-9502



国立市 政策経営部
政策経営課長 黒澤
TEL：042-576-2111(内)222

